



問 防災・減災の取組みについて

答 常総市等の取組みを参考に、リーダーの育成を含め対応したい

近年、全国的に豪雨や地震災害が多発。五霞町では、今のところ大きな被害を免れています。町の備えを伺います。

問 雨水対策、道路排水処理能力は。

都市建設課長 原宿台土地区画整理区域では、宅内及び道路は時間50ミリの強度を有する雨水管より各調節池へ。他の区域では、一般住宅等は宅内処理、道路は道路側溝より土地改良区排水路へ。ともに最終的には中川へ放流しています。

問 タイムラインは。

生活安全課長 河川の水位上昇に応じて、国からの情報収集、役場内の体制確認、水防団への指示、災害対策本部の設置を行うとともに、災害の発生が予想される場合、避難準備情報、避難勧告、避難指示の発令、放送に至るまでの計画です。

問 ハザードマップは。

生活安全課長 利根川、江戸川の破堤を想定し、町内の浸水状況をシミュレーションしたマップ、避難放送等の内容と意味、その時点での住民の行動、避難所などを掲載。来年3月中には水害に対する各種情報を盛り込んだ改訂版冊子を全戸配布予定です。

問 地震対策、ブロック塀倒壊危険箇所は。

教育次長 西小学校の門柱は撤去し、空いた箇所にフェンスを設置。中学校の正門両側の大谷石の塀は、カラー三角コーンと安全バーを設置し通行者に注意喚起。通学路の危険箇所は、地震が起きた際には迅速にその場から離れるよう引き続き指導していきます。

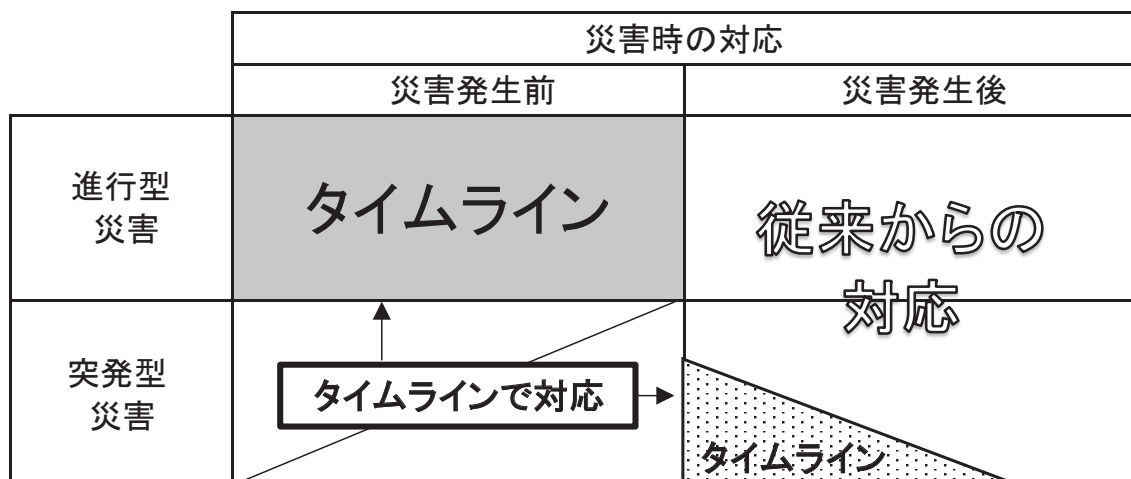
生活安全課長 災害時には、不安定な工作物には近寄らないことを周知。住民に所有ブロック塀等の再確認をという機会を設け、広報紙等での啓発も予定しています。

問 自主防災組織、編成と準備は。

生活安全課長 住民が団結し、組織的に行動し、地域全体が協力することにより、より多くの生命、財産が守られ、救われることからの編成です。

町長 常総市等は検討委員会も立ち上げ、マイタイムライン作成の仕方も指導。常総市の防災士は、市が助成して積極的に取得。これらを参考に、防災のリーダー育成も含め対応していければと考えています。

災害対応におけるタイムラインの位置づけ



「タイムライン（防災行動計画）策定・活動指針（初版）」平成28年8月
 ＜国土交通省 水災害に関する防災・減災対策本部 防災行動計画ワーキング・グループ＞